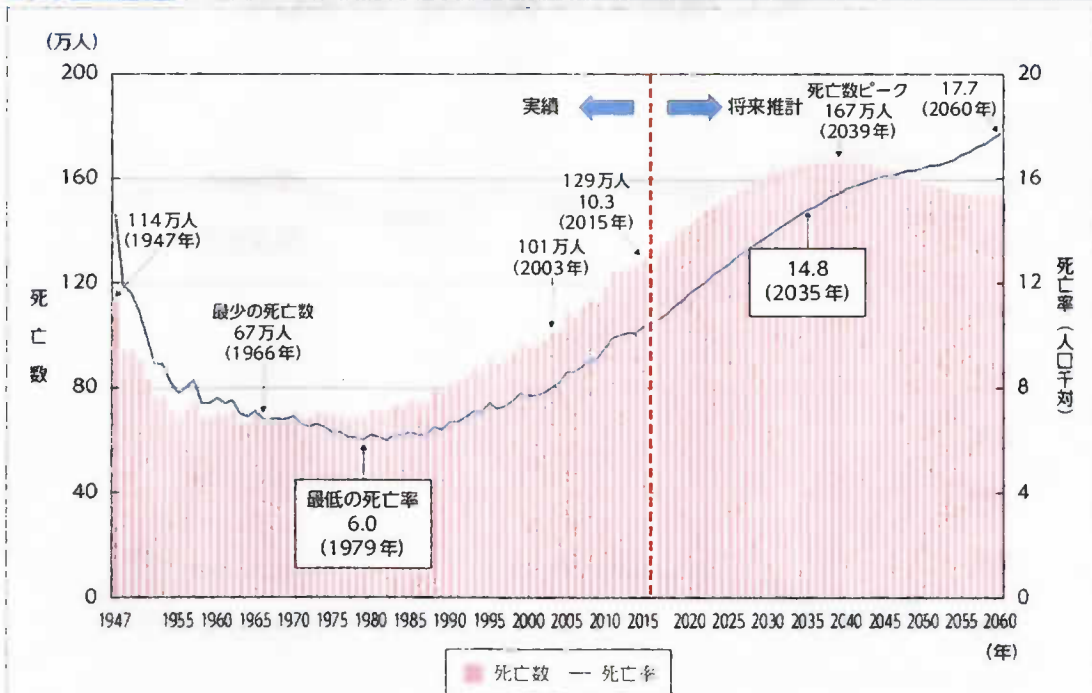


# みよし市 在宅医療の需要予測

病院事業管理者

2019/07/31

図表 1-1-11 死亡数及び死亡率の推移と将来推計



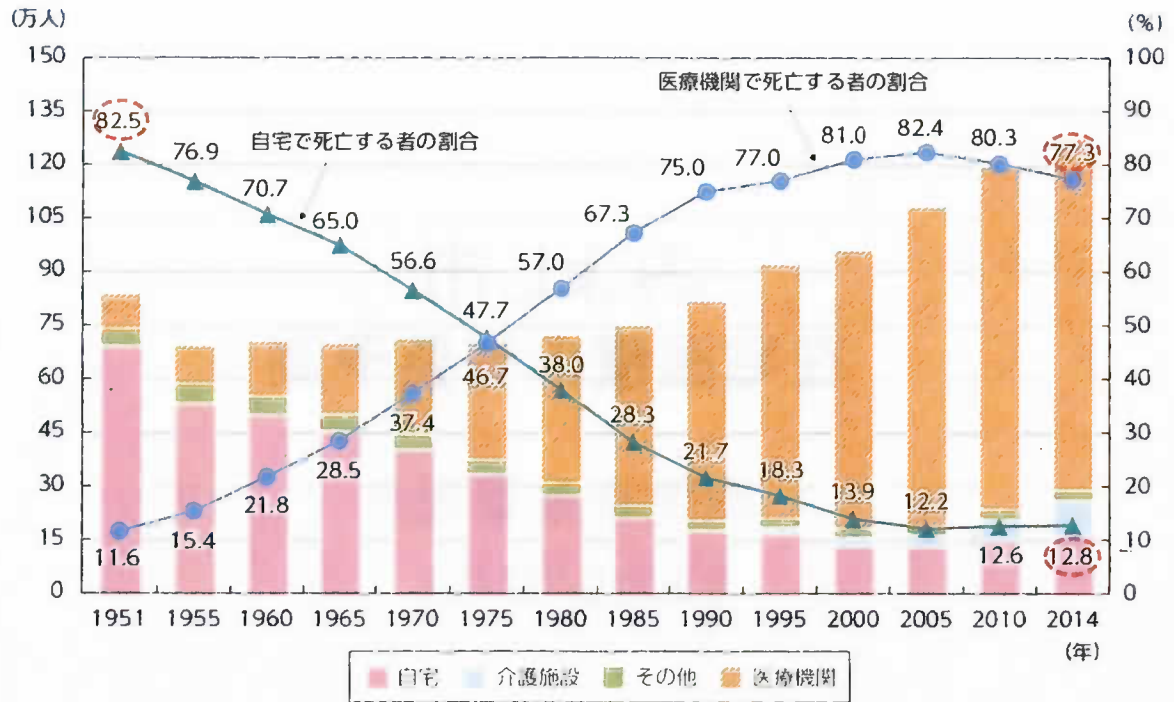
資料：2015年以前：厚生労働省政策総括官付人口動態・保健社会統計室「人口動態統計」  
 2016年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位・死亡中位推計）

- (注)
1. 1972年までは沖縄県を含まない。
  2. 2014年までは確定数、2015年は概数である。
  3. 増量増計値には日本における外国人を含む。

平成28年度版厚生労働白書  
 人口高齢化を乗り越える社会モデルを考える

図表 1-1-12 死亡場所別に見た、死亡数・構成割合の推移

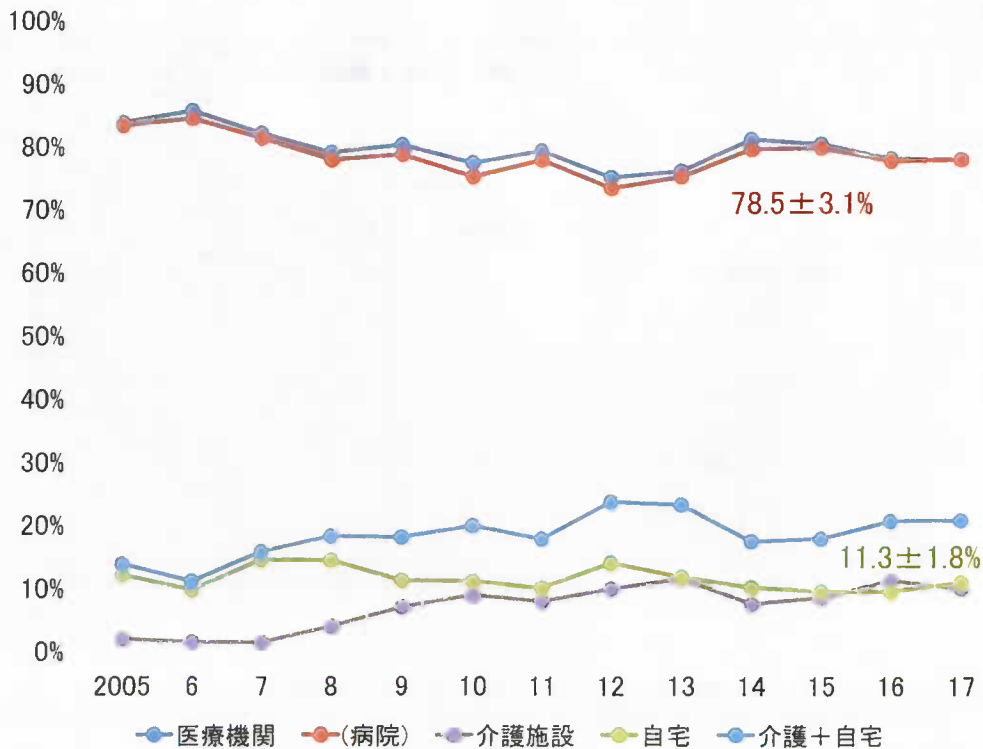
③



資料：厚生労働省政策統括官付人口動態・保健社会統計室「人口動態統計」より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成  
 (注) 1. 「介護施設」は、「介護老人保健施設」と「老人ホーム」を合計したもの。  
 2. 「医療機関」は、「病院」と「診療所」を合計したもの。  
 3. 1990年までは老人ホームでの死亡は、自宅又はその他に含まれる。  
 平成28年度版厚生労働白書 人口高齢化を乗り越える社会モデルを考える

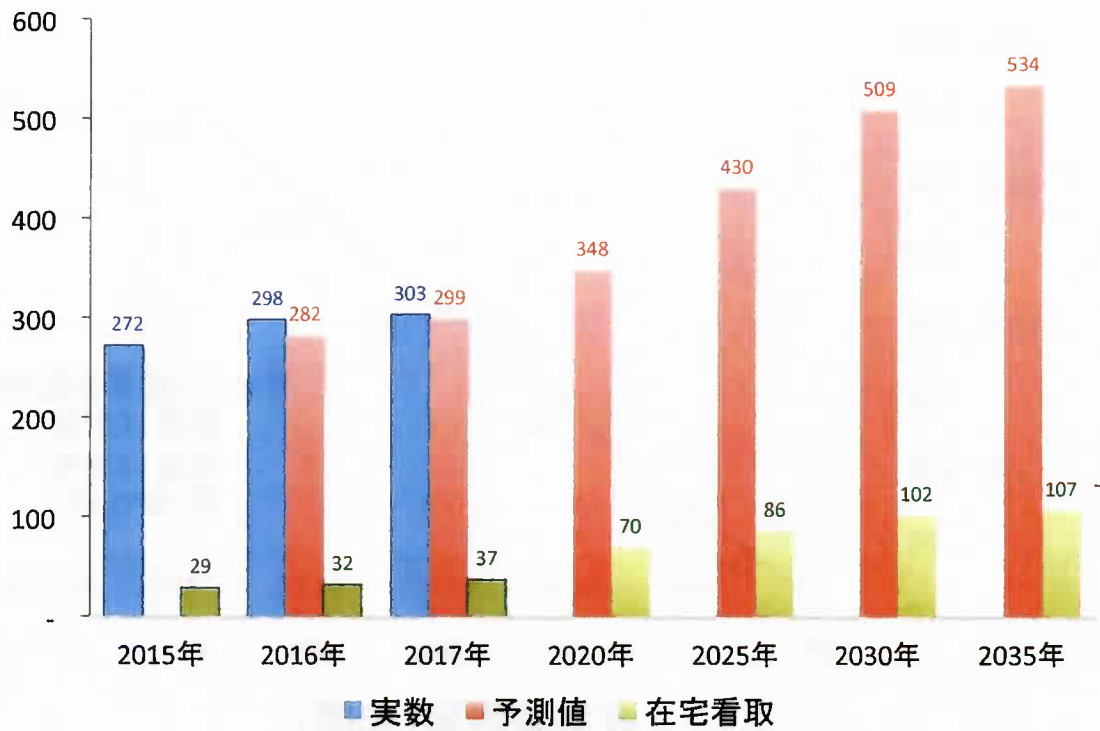
死亡場所の年次推移 みよし市

④



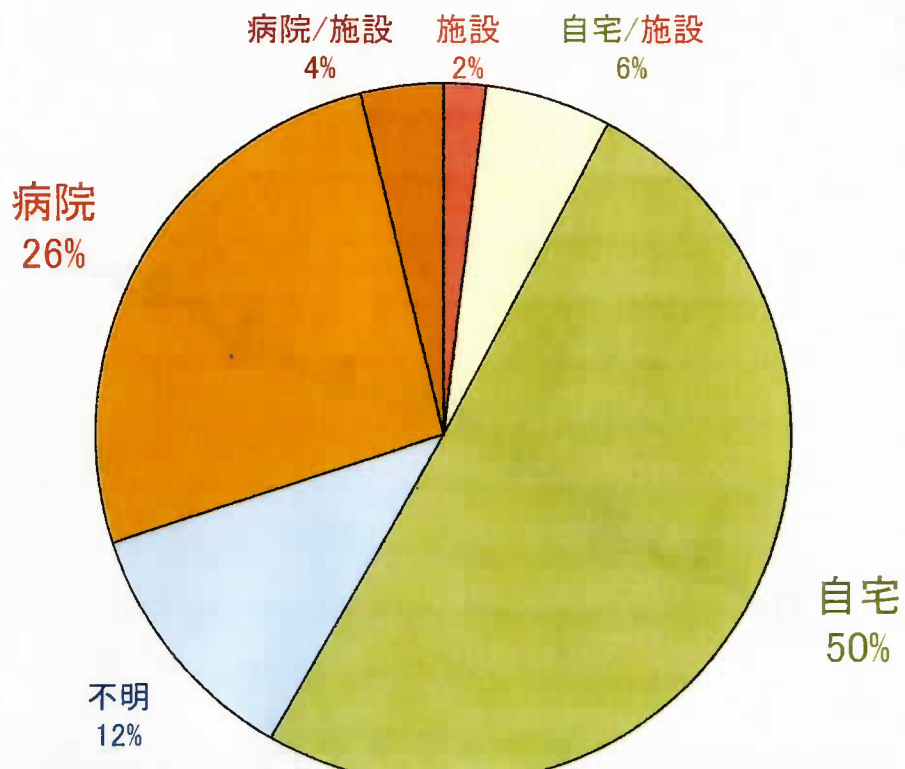
⑤

### みよし市 65歳以上の死亡数と在宅での看取数(20%)の予測値



⑥

### 人生の最後を迎える場所の希望

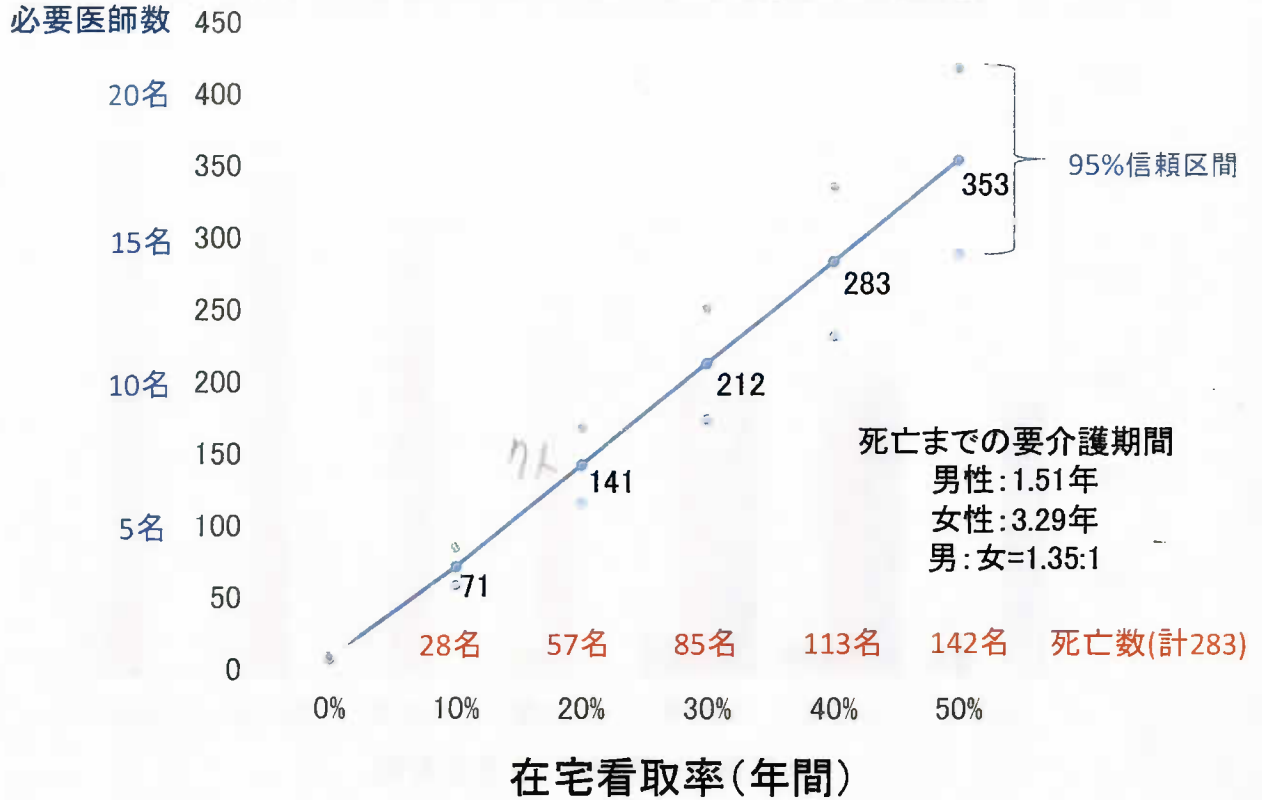


みよし市 アンケート調査(2019) n=103

## 訪問診療を必要とする患者数

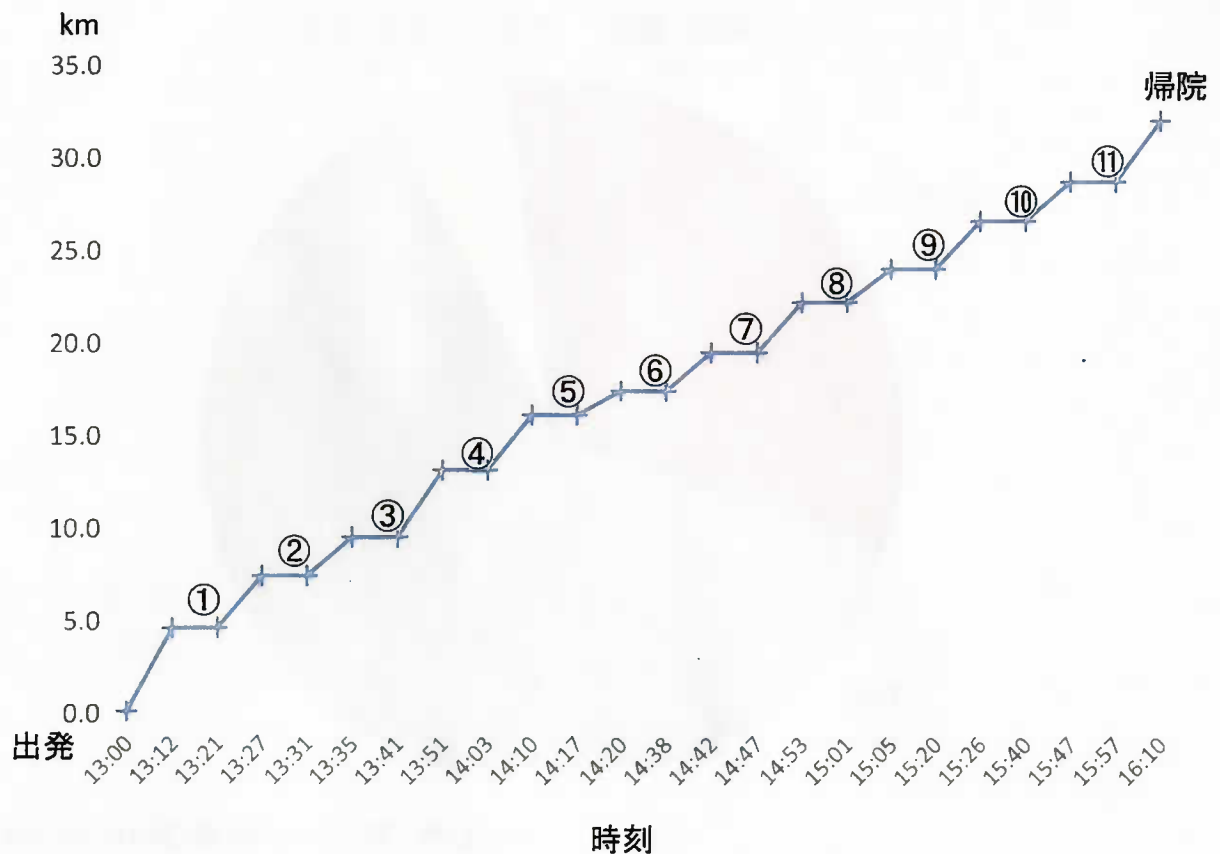
⑦

みよし市(2013年~2017年)の死亡者数からの推計値

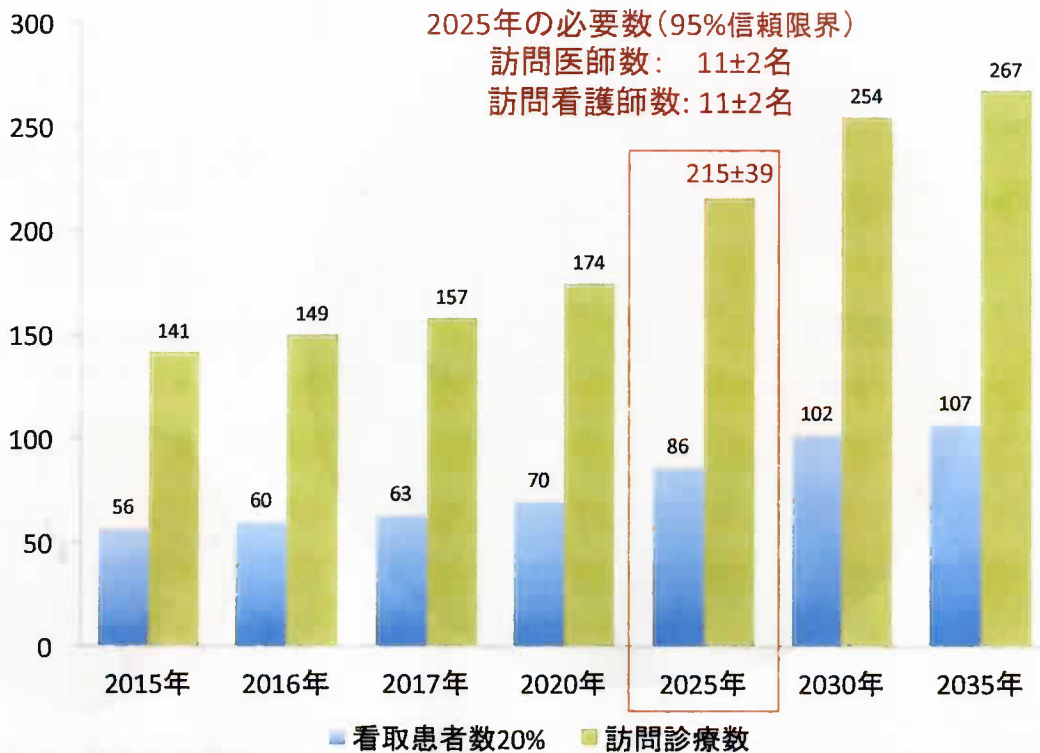


## 訪問診療の移動距離と時間経過

⑧



## みよし市 在宅看取率20%に必要な訪問診療患者数の予測値 ⑨



## 在宅医療のニーズ: 豊田市の推計値 ⑩

### 2 豊田市の現状認識とニーズ

#### <市民の現状認識・ニーズ>

- 在宅医療・訪問看護がイメージできない。情報が正しく伝わっていない。
- 在宅療養は家族・親族などへの負担が大きいと感じている市民が多い。
- 在宅療養を選択するにあたっては、24時間・365日対応を望む。とらに、定期的な訪問診療・訪問看護を望む。

### 3 豊田市の2025年の状況と課題

#### 1 急速な高齢化と在宅療養需要の増加

2015年と比較して、2025年に高齢者数は1.8倍、後期高齢者数は1.6倍に増加します。高齢化率は2015年の20.8%から25.3%に増加します。2025年度の訪問診療を必要とする人数は約2,200人と、2016年度の実績数約800名から2.8倍に増加します。

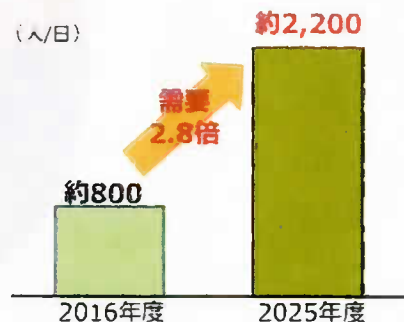
#### 2 在宅療養を支える人材の確保と育成環境の不足

専門職の人材確保、資質向上のための育成環境は不十分です。さらに、多職種連携も重要であるため、連携の強化が必要です。また、専門職が効率的にサービス提供ができるよう負担軽減策も充実させることが求められています。

#### 3 在宅療養の普及啓発の不足

在宅療養に対する普及啓発が十分ではなかったことから、市民の在宅療養に対する認知度は約50%という状況であり、一層の普及啓発が求められています。

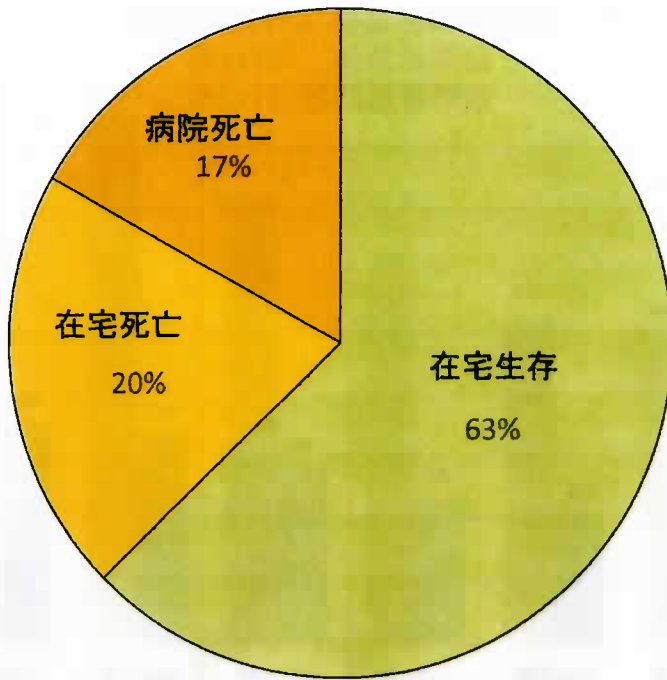
#### 訪問診療を必要とする患者数の推計



2016年度: 実績値(在宅医療サポートセンター及び豊田地域医療センター調査より)、2025年度: 愛知県提供データ、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より作成

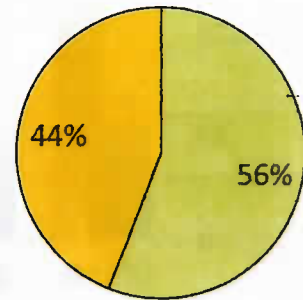
豊田市人口424,716 とみよし市人口60,365比から計算すると、みよし市における訪問診療を必要とする患者数は、2016年度は114人、2025年度は313人となる

### 2018年度 みよし市訪問看護ステーション利用者(107名)の予後



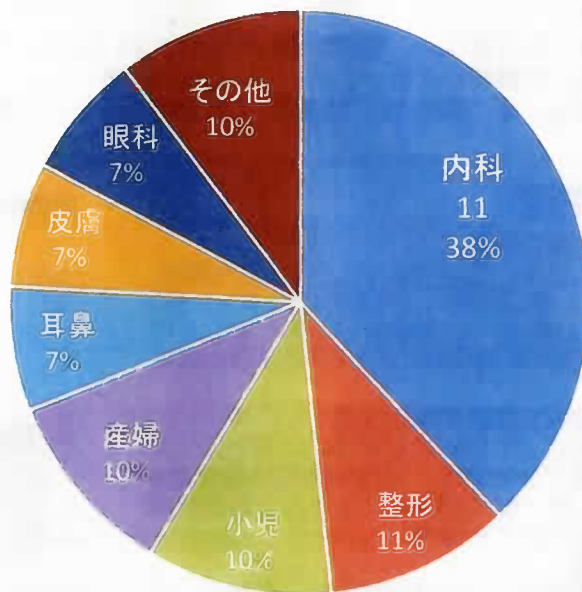
死亡までの要介護期間  
 男性:1.51年  
 女性:3.29年  
 男:女=1.35:1

訪問看護利用者の年間死亡率  
 (推計値)



■在宅生存 ■死亡数

### みよし市の診療科



●内科 ●整形 ●小児 ●産婦 ●耳鼻 ●皮膚 ●眼科 ●その他